

LS9 ファームウェア

主なアップデート内容

Firmware V1.34

改善点

- 内蔵バッテリー電圧の検出精度を向上しました。

修正した不具合

- STEREO バスで Post On インサートのオン/オフ設定が、MATRIX SEND2-8 へ正しく反映されないことがある不具合を修正しました。

Firmware V1.33

改善点

- LS9 StageMix を接続しているとき、まれに LS9 のパネルの動作が遅くなる現象を改善しました。

修正した不具合

- 外部ヘッドアンプのリモート操作の安定性を LS9 ファームウェア V1.30 より向上させました。これにより以下の症状が改善されました。

「No Response from External HA」というメッセージが出る

通信の切断

- コピー元やリコールデータと異なるバンドが設定されている FLEX15GEQ にペーストやリコールを実行すると、正しく設定が反映されない不具合を修正しました

- EQ[Q]エンコーダーとEQ[GAIN]エンコーダーを同時に押したとき、まれに選択したバンドのゲインを 0dB にリセットできない不具合を修正しました。

Firmware V1.30

改善点

- INPUT チャンネル、MIX チャンネル、STEREO チャンネル/MONO(C)チャンネル、MATRIX チャンネルのインサートポイントの選択肢に POST ON を追加しました。
- リコールセーフで ALL にのみ入っていた以下のパラメーター分類を修正しました。
 - INPUT TO MIX PRE/POST を INPUT MIX SEND に含める。
 - MIX TO MATRIX PRE/POST を MIX TO MATRIX SEND に含める。
 - STEREO TO MATRIX PRE/POST を STEREO TO MATRIX SEND に含める。
- INPUT TO MIX PRE/POST パラメーターをチャンネルリンクの対象に変更しました。

修正された不具合

- 外部ヘッドアンプのリモート操作の安定性を向上させました。これにより以下の症状が改善されました。
 - 「No Response from External HA」というメッセージが出る
 - 通信の切断
 - AD8HR を AD824 と誤認識
 - ゲイン量が表示と異なる
- (LS9-32 のみ)GEQ などがインサートされた INPUT チャンネルをインサートポイントがない INPUT チャンネル 33~64 に移動すると、OUTPUT チャンネルに GEQ などがインサートされてしまう不具合を修正しました。

ファームウェア更新手順

- ファームウェア更新の前に、LS9 のデータを USB メモリーに保存することをお奨めします。
 - 1. 解凍した以下のファイルを USB メモリーのルートディレクトリにコピーしてください。
LS9Px_xx.PGM (x_xx はバージョン番号を表します)
 - 2. 上記 USB メモリーを LS9 に挿入し、電源を立ち上げてください。

- 3. 「Start Loading? CANCEL[DEC]/OK[INC]」と LCD に表示されたら、[INC]キーを押してください。プログラムのロードが始まります。
- 4. ロードが完了するまで電源を切らずにお待ちください。ロードが完了すると、LS9 は再起動し、使用できる状態になります。
- 5. 本体を初期化してください。

性能限界および仕様

- V1.10 と同じ

Firmware V1.21

修正した不具合

- MY8-AE96S カード使用時に、カードと本体との組み合わせによっては、カードの入力信号に Sync Error が表示されて周期的に音声が入切れる不具合を修正しました。

ファームウェア更新手順

- ファームウェア更新の前に、LS9 のデータを USB メモリーに保存することをお奨めします。
 - 1. 解凍した以下のファイルを USB メモリーのルートディレクトリにコピーしてください。
LS9Px_xx.PGM (x_xx はバージョン番号を表します)
 - 2. 上記 USB メモリーを LS9 に挿入し、電源を立ち上げてください。
 - 3. 「Start Loading? CANCEL[DEC]/OK[INC]」と LCD に表示されたら、[INC]キーを押してください。プログラムのロードが始まります。
 - 4. ロードが完了するまで電源を切らずにお待ちください。ロードが完了すると、LS9 は再起動し、使用できる状態になります。
 - 5. 本体を初期化してください。

性能限界および仕様

- V1.10 と同じ

Firmware V1.20

改善点

- サブネットマスクの第 2 オクテットと第 3 オクテットを変更できるようにしました。これにより接続可能な LAN が増えますが、詳細や注意事項については、最新の LS9 Editor インストールガイドおよび、「LS9 ネットワーク接続時の注意」をご参照ください。
- 初期化の終了がわかりやすいように、カーソル位置とメッセージを変更しました。

修正した不具合

- ごくまれに、電源投入やケーブルの抜き差し、ワードクロックの切り替えで、MY8-AE96/96S の受信信号が数チャンネル無音になってしまうことがある不具合を修正しました。

Firmware V1.18

修正した不具合

- EXTERNAL HA PORT SELECT でアサインした設定が、本体の電源再起動で初期化されてしまう不具合を修正しました。(V1.17 だけで発生します。)

Firmware V1.17

改善点

- EXTERNAL HA の COMM PORT の初期値を「----」から「SLOT1」(LS9-16 は SLOT)に変更しました。また、EXTERNAL HA PORT SELECT の初期値も#1 を「SLOT1 1-8」、#2 を「SLOT1 9-16」、#3 を「SLOT2 1-8」、#4 を「SLOT2 9-16」に変更しました。(LS9-16 に#3、#4 はありません)

修正した不具合

- ファイル名に英語以外のラテン文字(ウムラウトなど)を含むファイルが保存されている USB メモリーを挿入すると、LS9 本体がフリーズする不具合を修正しました。
- USB メモリーに保存されているユーザー認証キーを使ってログインしているときに、SAVE/LOAD 画面などで該当ユーザー認証キーと異なるディレクトリーに移動した状態でコンソールロックの実行・解除を行なうと、ログインしているユーザーがゲストになってしまう不具合を修正しました。
- 1秒未満の AAC(MPEG-4 AAC)フォーマットのオーディオファイルを保存した USB メモリーを挿入すると、LS9 本体がフリーズする不具合を修正しました。
- SLOT1 を使用した MIDI の送受信ができない不具合を修正しました。
- LS9 Editor をオンライン状態にしている場合、アプリケーションの強制終了や Windows Vista でのフォントの変更などが原因で Ethernet 接続が予期せずに切断されたときに、まれに LS9 本体の動作が極端に遅くなったり、フリーズする不具合を修正しました。

性能限界および仕様

- V1.10 と同じ

Firmware V1.16

修正した不具合

- 本体に割り当てられている特定の MAC アドレスで発生する NETWORK 端子の不具合を修正しました。(該当品は全て工場出荷時に修正済みです)。V1.15 をお使いのお客様が V1.16 にアップデートされても問題はありますが、追加される機能はございません。

※出荷時にファームウェア V1.16 がインストールされている本体を購入されたお客様は、V1.15 およびそれ以前にダウングレードしないで下さい。電源起動時にエラーメッセージが出て NETWORK 端子(Studio Manager 用)が使用できなくなります(復帰にはファームウェア V1.16 を再度インストールして下さい)。

性能限界および仕様

- V1.10 と同じ

Firmware V1.15

修正した不具合

- (LS9-32 のみ) INPUT チャンネルから MIX バスに信号を送る場合、INPUT チャンネル 1~32 からと INPUT チャンネル 33~64 からでは遅延時間が異なる不具合を修正しました。
- (LS9-16 のみ) インプット系チャンネルから STEREO バスまたは MONO バスに信号を送る場合、INPUT チャンネル 1~32 からと ST IN チャンネル 1~4 からでは遅延時間が異なる不具合を修正しました。
- シーンリコール後に、V1.14 でシーンメモリーに追加された外部ヘッドアンプ機器の HPF ON または HPF Frequency パラメーターを編集した場合、“E”(Edited)マークが表示されない不具合を修正しました。

Firmware V1.14

新機能

- 内蔵ヘッドアンプの GAIN および+48V パラメーターをコントロールチェンジメッセージ(NRPN)で送受信できるようになりました。
- 外部ヘッドアンプ機器の HPF ON および HPF Frequency パラメーターをシーンメモリーに保存するように変更しました。

改善点

- フェーダーの静粛性、耐久性向上のため、モーターフェーダーの移動速度を調整しました。シーンのリコールに要する時間や他の性能に変更はありません。

修正した不具合

- INPUT チャンネルの HPF をオン/オフしてもコントロールチェンジメッセージ(NRPN)が送信されない不具合を修正しました。

性能限界および仕様

- V1.10 と同じ

Firmware V1.13

このバージョンについて

- V1.13 は、生産効率向上のためのアップデートです。

Firmware V1.12

修正した不具合

- SENDS ON FADER モードで、送り先の MIX/MATRIX チャンネルのフェーダーが正しい値に移動しない場合がある不具合を修正しました。
- LS9 Editor がオンラインの状態 で Ethernet ケーブルを抜き挿しすると、オフラインになったままオンラインに復帰しない不具合を改善しました。
- HA ゲインまたは+48V のパラメーターを変更したときに、パラメーターチェンジメッセージが送信されない不具合を修正しました。また、これらのパラメーターに対するパラメーターリクエストを受信したときに、間違ったパラメーターチェンジを返してしまう不具合を修正しました。

性能限界および仕様

- V1.10 と同じ

Firmware V1.11

修正した不具合

- スロットに装着した MY16-CII をワードクロックマスターに設定して、ワードクロックがロックする前に電源を切った場合、電源を入れ直したときにロックしなくなる不具合を修正しました。
- USB メモリーの/YYPE/SONGS フォルダー以下にオーディオファイルが何も無い状態で USB メモリーレコーダーで録音中にメモリー容量不足で録音が停止した場合、およびサンプリング周波数を切り替えたために録音が停止した場合、一時的に再生できなくなる不具合を修正しました。

- スロットに MY8-AE96(S)を装着して使用する場合、あるチャンネルの入力信号がアンロックや同期エラーになると、別のチャンネルの入力信号にノイズがのる不具合を修正しました。
 - タイトルとしてファイル名を表示し、アーティスト名は空欄で表示します。
 - タイトルおよびアーティスト名は編集できません。

性能限界および仕様

- V1.10 と同じ

Firmware V1.10

新機能

- SCENE PLAYBACK LINK 画面が追加されました。あるシーンをリコールしたときに、USB メモリー内の特定のオーディオファイルが再生されるようにリンク設定できます。LS9 Editor からは設定できません。
- ユーザー定義キーに割り当て可能な機能として DIRECT PLAY が追加されました。この機能を割り当てたユーザー定義キーを押すと、指定したオーディオファイルを再生開始します。
- SCENE LIST 画面にシーンのコメントを表示できるようになりました。コメントとタイムスタンプを切り替えて表示します。
- SCENE LIST 画面の STATUS フィールドに、シーンにオーディオファイルの再生がリンク設定されていることを示す PLAY インジケーターが表示されるようになりました。

修正した不具合

- U3 規格の USB メモリーを挿入すると、フリーズなどの予期せぬ動作が起こる不具合を修正しました。
- HA ゲインのチャンネルリンク機能にいくつかの不具合がありましたが、修正しました。
- SET BY SEL 機能使用時に[SEL]キーの点灯表示でいくつかの不具合がありましたが、修正しました。
- LS9-16 でシーン番号 000 をコピー & ペーストすると LS9-32 の初期値がペーストされてしまう不具合を修正しました。
- チャンネルリンク設定時に、プリファレンス設定で[LAYER]→[SEL] LINK や[CUE]→[SEL] LINK がオンの場合、リンク元チャンネルにカーソルを合わせて[ENTER]キーを押しながらレイヤーを切り替えてチャンネルリンクを設定したとき、[SEL]キーが点滅しない不具合を修正しました。

- USB メモリーレコーダーの RECORDER 画面で録音中に経過時間(ELAPSE)しか表示されない不具合がありました。USB メモリーに録音できる残り時間(REMAIN)も表示されるように修正しました。

性能限界および仕様

- LS9 Editor がオンラインになっている状態で Ethernet ケーブルを抜き挿しすると、オフラインになったままオンラインに復帰しない場合があります。オフラインのままになった場合は、LS9 Editor の「System Setup」ダイアログボックスで Input Port/Output Port を解除したあと選択し直すことでオンラインに復帰できます。
- USB メモリー内のファイルの断片化により、空き領域やファイルの検索に時間がかかり、USB メモリーレコーダーの録音/再生が停止することがあります。
- ファイル名の先頭に 2 バイトで文字コード E5xx に相当する「蓄」や「薇」などの文字を使った場合、ファイルが認識されません。
- USB メモリーレコーダーの TITLE LIST 画面で、↑/↓ボタンを使ってタイトルを並び替えるとき、パネル操作が速すぎると誤動作して他のタイトルを移動してしまうことがあります。
- USB メモリーレコーダーでオーディオファイルを再生する場合、曲の最後が最大 400ms ほど再生されないことがあります。
- USB メモリーを挿入したり、YPE フォルダーの中の SONGS フォルダー以下にファイルを追加/削除したりするたびに USB メモリー上のタイトルリストが更新されます。ファイル数が多い場合は更新に時間がかかる場合がありますので、ご了承ください。
- USB メモリーレコーダーで録音中に USB メモリーを抜いたり、電源を切るなどの動作を行なった場合、ファイルの処理が完了しないため、音声は正常に再生できなくなります。
- CONSOLE LOCK 画面にユーザーが作成した Bitmap ファイルを表示できますが、8/16/24/32bit Color、非圧縮、307,256 バイト以下の制限があります